

キチジ *Sebastolobus macrochir* の albino について

藤田惣吉・西野耕一郎
(岩手県立宮古水産高等学校)

On an albino of *Sebastolobus macrochir* collected off
Cape Erimo, Japan

Soukiti HUZITA and Kōichirō NISHINO
(Miyako Fisheries High School, Iwate Pref.)

疋田(1964)は魚類の albino はカレイ、ヒラメ類に特に多く、次いでコイ科、サケ科の数魚種及びエイ類などについてみられるという。又最近ニジマスの albino は各地の養鱒場で比較的多く飼育されているが、これは交配によったものである(長野水指、1962)。

著者等は珍しいキチジ *Sebastolobus macrochir* の albino を一尾入手したが、今迄この種についての報告がみあたらないのでその観察結果をまとめた。

本文に入るに先立ち発表に便宜を与えられた宮古水産高等学校長佐々木千秋先生、実習船々長藤田善次郎氏及び御助言をいたされた東海区水産研究所阿部宗明博士に深く感謝の意を表する。

観察結果

この標本は本校実習船かみみ丸が1964年9月29日北海道襟裳岬の南東沖(漁場は距岸23マイル、底質は細砂、水深275m)で底曳網を操業中採集したものである。当日の漁獲物はキチジ1,866kg、アブラガレイ627kg、スケトウダラ614kg、タラ418kgなど約4,000kgで特にキチジが多くこの赤い体色の漁獲物中に色の変った標本が混在していた為殊に注意をひいたものと思われる。

標本は一見メバルに似ているが胸鰭の下部軟条は葉状部となつて突出し、眼下には一列の強い棘があり、更に背鰭に黒い斑紋の存在する点でメバルとは異なる(松原、1955)。

体色は淡灰黒色で赤色味は全くなく piebald albino ではないかと考えられたので正常なキチジ数尾と比較し観察してみた(fig. 1)。

その結果は table 1 にとりまとめたが体色と、体高のやや低い点を除いては殆んど形態的な差は認められない。

即ち体色は淡灰黒色だが腹部は白く腹鰭も全く白い。これに対し背鰭はキチジの特徴でもある黒い斑紋が第6~11棘条にかけてみられ、その位置は正常なものよりやや前寄りである。更に胸鰭では中央部から先端にかけて、尾鰭では中央部がやや黒色味をおびている。

以上の観察結果からこの標本はキチジの piebald albino と考えられ大変珍しいものと思われる。

Table 1. Morphological comparison between albino and normal specimens of *Sebastolobus macrochir*.

Specimens	Body length (mm)	Body height*	Head length*	Eye diameter*	Snout length*	Interorbital widths*	Depth of caudal peduncle*	B. l.	B. l.	H. l.	H. l.	B. l.	B. l.	B. l.	B. l.	Place of black spot on D. f.	Total number of vertebrae
								B. h.	H. l.	E. d.	S. l.	Predorsal length	Preanal length				
albino	232	30.2	39.2	12.9	9.05	4.74	8.62	3.32	2.55	3.14	4.34	2.64	2.50	1.42	VI~XI	27	
normal No. 1	236	34.7	39.8	12.3	9.11	4.66	8.89	2.88	2.51	3.26	4.46	2.72	2.68	1.42	VII~XII	27	
„ No. 2	224	33.4	39.3	12.9	8.48	4.46	8.92	2.98	2.54	3.04	4.62	2.76	2.70	1.37	VIII~XII	—	
„ No. 3	236	31.4	41.7	13.1	8.89	4.74	8.05	3.19	2.51	3.16	4.66	2.68	2.84	1.40	VII~XII	—	
„ No. 4	227	30.8	41.4	13.6	9.69	4.84	7.92	3.24	2.42	3.04	4.28	2.64	2.55	1.37	VIII~XII	—	

* In hundredths of body length.

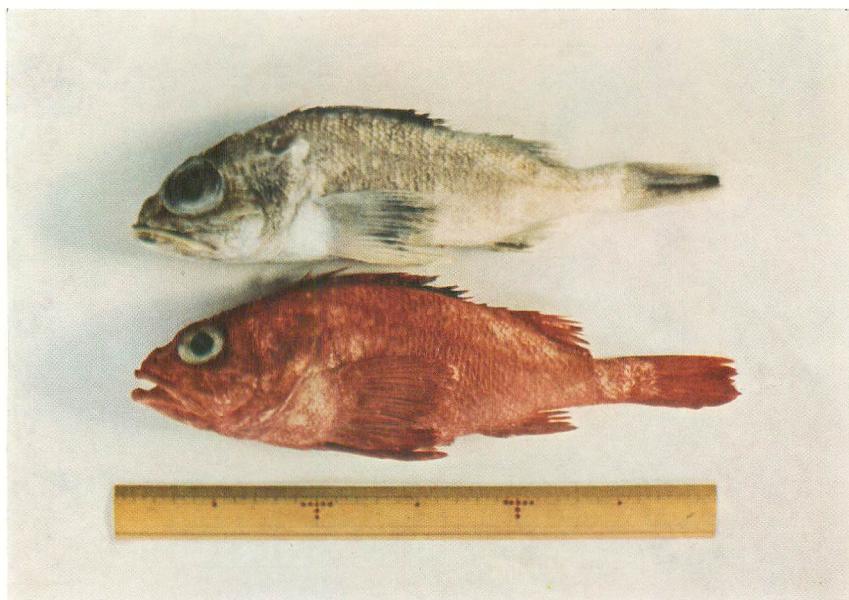


Fig. 1. Piebald albino (above) and normal (below) specimens of *Sebastolobus macrochir*.

引用文献

- 疋田豊彦, 1964: 紺色鮭稚魚の謎. 魚と卵 106, pp. 10-11.
 長野県水産指導所, 1962: ニジマス albino ができた経過. とう写版.
 松原喜代松, 1955: 魚類の形態と検索 II. pp. 1069-1070.

Summary

An albino specimen of *Sebastolobus macrochir* (GÜNTHER) was caught by bottom trawl on Sep. 29. 1964, from a depth of 275 m. off Cape Erimo, Japan. Its standard length is 232 mm. The body color is pale black.